

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあととみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとして
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

校種・教科等	小学校	受審番号		氏名	
--------	-----	------	--	----	--

(6) 指導計画(全 14 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画		
第一次 (3 時間)	・既習事項(長方形の面積, 正方形の面積)の理解を確かめる ・三角形などの面積について考えていくという単元の課題をつかむ。 ・直角三角形の面積の求め方を考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	・態① ・態②
	・三角形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思①	
	・三角形の求積公式を導く。		・知②	・思②	
第二次 (4 時間) 本時 1/4	・平行四辺形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。 教科書 P140, 141			・思①	
	・平行四辺形の求積公式を導く。	一斉 個別 ペア グループ	・知②	・思②	
	・高さが外にある場合の三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え, 求積公式が適用できることを理解する。		・知①	○思①	
	・底辺の長さが等しく, 高さも等しい三角形や平行四辺形は, 面積も等しくなることを理解する。				
第三次 (7 時間)	・台形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	・態①
	・台形の求積公式を導く。		・知②	・思②	・態②
	・ひし形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思① ○思②	○態① ○態②
	・ひし形の求積公式を導く。		○知① ○知②		
	・学習内容を確実に身につける。	個別			
	・一般四角形の面積を三角形に分割して求めることができる。	一斉 個別 ペア グループ	・知①	○思①	○態①
	・三角形の高さや底辺の長さを変えたとき面積の変わり方を調べる。		・知①		
	・学習内容の理解を確認する。	個別	○知① ○知②		

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単元名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあととみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

校種・教科等	小学校	受審番号		氏名	
--------	-----	------	--	----	--

(6) 指導計画(全 14 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画		
第一次 (3時間)	・既習事項(長方形の面積, 正方形の面積)の理解を確かめる ・三角形などの面積について考えていくという単元の課題をつかむ。 ・直角三角形の面積の求め方を考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	・態① ・態②
	・三角形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思①	
	・三角形の求積公式を導く。		・知②	・思②	
第二次 (4時間)	・平行四辺形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	
	・平行四辺形の求積公式を導く。		・知②	・思②	
	・高さが外にある場合の三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え, 求積公式が適用できることを理解する。		・知①	○思①	
	・底辺の長さが等しく, 高さも等しい三角形や平行四辺形は, 面積も等しくなることを理解する。				
第三次 (7時間) 本時 1/7	・台形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。教科書 P147, 148			・思①	・態①
	・台形の求積公式を導く。	一斉 個別 ペア グループ	・知②	・思②	・態②
	・ひし形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。 ・ひし形の求積公式を導く。			・思① ○思②	○態① ○態②
	・学習内容を確実に身につける。	個別	○知① ○知②		
	・一般四角形の面積を三角形に分割して求めることができる。	一斉 個別 ペア グループ	・知①	○思①	○態①
	・三角形の高さや底辺の長さを変えたとき面積の変わり方を調べる。		・知①		
	・学習内容の理解を確認する。	個別	○知① ○知②		

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあとみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしていく。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

校種・教科等	小学校	受審番号		氏名	
--------	-----	------	--	----	--

(6) 指導計画(全 14 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	
第一次 (3時間)	・既習事項(長方形の面積, 正方形の面積)の理解を確かめる ・三角形などの面積について考えていくという単元の課題をつかむ。 ・直角三角形の面積の求め方を考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思① ・態① ・態②
	・三角形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思①
	・三角形の求積公式を導く。		・知②	・思②
第二次 (4時間)	・平行四辺形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①
	・平行四辺形の求積公式を導く。		・知②	・思②
	・高さが外にある場合の三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え, 求積公式が適用できることを理解する。		・知①	○思①
	・底辺の長さが等しく, 高さも等しい三角形や平行四辺形は, 面積も等しくなることを理解する。			
第三次 (7時間) 本時 3/7	・台形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別		・思① ・態①
	・台形の求積公式を導く。		・知②	・思② ・態②
	・ひし形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。 ・ひし形の求積公式を導く。教科書 P150	ペア グループ		・思① ○思② ○態① ○態②
	・学習内容を確実に身につける。	個別	○知① ○知②	
	・一般四角形の面積を三角形に分割して求めることができる。	一斉 個別 ペア グループ	・知①	○思① ○態①
	・三角形の高さや底辺の長さを変えたとき面積の変わり方を調べる。		・知①	
	・学習内容の理解を確認する。	個別	○知① ○知②	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年10月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第5学年1組教室

(3) 学年・学級 第5学年1組(28名)

使用教科書 わくわく算数5年(啓林館)

(4) 単 元 名 面積

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・垂直と平行の定義の理解やかき方とともに、平行四辺形や台形、ひし形の定義、性質等を学習し、対角線についても理解している。
- ・図形の面積は単位正方形(1cm^2 , 1m^2)の数を数えると求めることができることを理解し、正方形や長方形の面積の公式を導いている。
- ・正方形や二等辺三角形を真ん中で二つに切ると、形も大きさも同じ図形ができることを経験している。
- ・L字型、凹字型などの長方形を組み合わせた図形の面積を、長方形に分けたり、ないところをあととみたりして公式を使った面積の求め方を学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 底辺と高さの意味や公式について理解し、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの面積を求めることができる。
(知識及び技能)
- (2) 既習の面積の求め方を基にして、三角形、平行四辺形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、面積の求め方を考えたり、求積方法をふり返って公式を導いたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

【児童の状況】

- ・平面図形の面積については、長方形、正方形の面積を全員の児童が公式を使って求めることができる。
- ・単位となる面積を決めて、その何個分あるかを求めることで広さを数値化して表すことや公式化することを学習しているが、順序立てて説明できる児童は約7割程度である。
- ・ 1cm^2 をもとに、複合図形の面積を求める活動を通して、面積の保存性、等積変形について学習しているが、平行線の性質から辺の長さを導き出すことができない児童や図形を分割して移動すると、辺の長さが分からなくなる児童が約2割程度いる。

校種・教科等	小学校	受審番号		氏名	
--------	-----	------	--	----	--

(6) 指導計画(全 14 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画		
第一次 (3 時間)	・既習事項(長方形の面積, 正方形の面積)の理解を確かめる ・三角形などの面積について考えていくという単元の課題をつかむ。 ・直角三角形の面積の求め方を考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	・態① ・態②
	・三角形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思①	
	・三角形の求積公式を導く。		・知②	・思②	
第二次 (4 時間)	・平行四辺形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	
	・平行四辺形の求積公式を導く。		・知②	・思②	
	・高さが外にある場合の三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え, 求積公式が適用できることを理解する。		・知①	○思①	
	・底辺の長さが等しく, 高さも等しい三角形や平行四辺形は, 面積も等しくなることを理解する。				
第三次 (7 時間) 本時 5/7	・台形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。	一斉 個別 ペア グループ		・思①	・態①
	・台形の求積公式を導く。		・知②	・思②	・態②
	・ひし形の面積の求め方をいろいろに考えることができる。			・思① ○思②	○態① ○態②
	・ひし形の求積公式を導く。	個別	○知① ○知②		
	・学習内容を確実に身につける。				
	・一般四角形の面積を三角形に分割して求めることができる。教科書 P152, 153	一斉	・知①	○思①	○態①
	・三角形の高さや底辺の長さを変えたとき面積の変わり方を調べる。	個別 ペア グループ	・知①		
	・学習内容の理解を確認する。	個別	○知① ○知②		

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。